

中山 竜一  
法学研究科・教授

**[研究]**

次の報告を行った。

・立命館大学・朱雀キャンパスにて2016年5月29日に開催された、日本法社会学会・学術大会の全体企画関連ミニ・シンポジウム「〈法〉を見るための〈方法〉」において、見平典、飯田高、藤田政博、山田恵子、久保秀雄ら各教授の報告に対するコメントータを務めた。

・同志社大学・今出川キャンパスにて2016年12月10日に開催された法理学研究会12月例会「合評会：森村進編『法思想史の水脈』」において、同所の全体、および森村進、濱真一郎、高橋文彦、関良徳、大澤津、橋本祐子ら各教授執筆の記事に対するコメントータを務めた。

次の論文等を公表した。

・Ryuichi Nakayama, "On Legal Instrumentalism After Fukushima: A Comment on Professor Tamanaha's Lecture," in Kosuke Nasu (ed.), Insights about the Nature of Law from History: Archiv für Rechts- und Sozialphilosophie, Beihefte 152, 2017, pp.57-62.

**[教育]**

・法学部の「法理学」、「法学の基礎」「法政基礎セミナー」「演習Ⅰ・Ⅱ」(オムニバス科目:うち4回を担当)、大学院法学研究科の「法理学」、「法理学特殊講義」、法科大学院の「法理学」、「法理論」(オムニバス科目:うち5回を担当)を担当した。

「法理学」については、学部では講義形式、大学院法学研究科では外国書講読と議論、法科大学院では事前学習を前提とするソクラテス方式というように、教育目的に合わせて授業の形式と内容を工夫した。

・法学部・法学研究科の留学生向け科目「日本の法制度／日本法総合演習」のうち1回を担当した((担当回の講義題目「日本法概論」)。

・コミュニケーション・デザイン・センター(CSCD)提供の「知のジムナスティックス」科目「科学技術社会論基礎」のうち2回を担当した(担当回の講義題目「科学技術と法的思考(1)(2)」)。

**[管理運営]**

・法学研究科副研究科長(管理運営担当)、および知的財産センター副センター長を務めた。

・全学学内委員会の委員等としては、教育研究評議会評議員、ハラスメント調査委員会委員、図書館委員会委員、総合図書館運営委員会委員、附属図書館電子図書館委員会委員、保健センター倫理審査委員会委員、COセンター兼任教員、知的財産センター兼任教員を、それぞれ担当した。

・法学研究科・高等司法研究科「室」業務では、計画室室員、財務室室員、広報室室員、施設マネジメント室室員を、それぞれ務めた。

・法学研究科部内委員会等については、運営委員会委員、広報委員会委員長、法規ワーキンググループ座長、コンプライアンス推進副責任者を、それぞれ担当した。

**[社会貢献]**

・日本法哲学会・理事

・日本法哲学会・学会奨励賞選定委員会幹事